

根上中だより



E-mail neagari-jhs@school.city.nomi.ishikawa.jp

HP <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/neagari/>

発行者 根上中学校校長

木下 浩明

TEL 0761-55-0160

FAX 0761-55-0456

■3年生が、平田しおり先輩に学びました！

11月16日(火)に3年生が、この夏の東京オリンピックに出場した平田しおり先輩から学びました。中学生まで家庭部に所属していた平田さんが、ライフル射撃のオリンピック選手にまでどうして成長できたのか？講演と恩師の仁地先生(辰口中)をパネラーの一人としてお招きしたパネルディスカッションの中で語ってくれました。

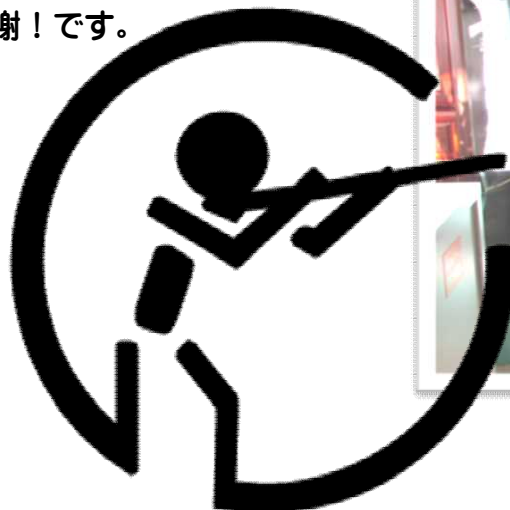
- ・ほめられてうれしかったことが練習のモチベーションになったこと。
- ・あと少しで1位になれるのになれず、悔しかったことでがんばったこと。
- ・自分の力になる練習をしなさいとコーチから言われ、練習していること。
- ・集中は、練習によって「自分はできるんだ」という自信に裏づけられていること。

この他にも、多くのことをお話しされたので、3年生の皆さんにとっては、一人ひとり大きな学びがあったのではないのでしょうか。”平田先輩！いいねえー！”

3年生、先輩から学んだことを受験に人生に活かしてください。”がんばろう！3年生！”

現在大学4年生の平田先輩は、来春からは社会人です。ライフル射撃競技は続け、次のパリオリンピックの出場権獲得にむけて活動するそうです。先輩の活躍を祈り、そして熱く応援していきましょう！

なお、平田先輩はこの講演の前の週は大学選手権に出場、講演の後も飛行機で東京に戻り合宿と・・・ハードなスケジュールの中での根上中学校訪問でした。感謝！感謝！です。



■2年生が、寺野稔先生(JAIST学長)に学びました！

11月1日(月)の午後に能美市主催のサイエンスセミナーが根上中学校で開催されました。本校では、2年生が、北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)の学長である寺野稔先生にお話を聞きました。テーマは「身の回りの不思議と先端科学技術」です。身の回りがある生活の中で、「あれ？どうして？不思議だなあ？」と感ずることに、興味関心を持つことが、先端の科学技術につながっていることを、例を挙げてわかりやすく説明いただきました。

20年ほど前に、機会があってマレーシアの学校を訪問したことがあります。その時に、「国を豊かにするのは数学と科学の力だ。」と、その学校の校長先生がお話しされたことを思い出しました。未来を生きる根中生の心に科学の芽が育つとうれいなあ～と思います。”がんばろう！2年生！”

この講演の最後に寺野先生が質問に答えていただける場面があったのですが、勉強方法についてこんな答えがありました。「わからない問題をずっと考えていても仕方ない。先生や友達に聞く、解答を見る。そして理解して、次は自分の力解ければ、それが学力だ。」本当にそうだなあ！と思いました。皆さんも実践しませんか？



■最近の「朝のあいさつ」から感ずること・・・

玄関であいさつをしていて気づいたことがあります。軽く会釈(頭を下げる)をしながらあいさつできる生徒、マスク越しだけどニコッと笑ってあいさつする生徒、大きな声であいさつする生徒が増えています。なぜかそんなあいさつを返してもらえると嬉しくなります。同時に今日もがんばれと応援したくなります。でも逆にあいさつをしても目も合わせずにそっと横を歩いていく生徒を見ると、朝何かあったのかなあ？体調悪いのかなあ？と考ず心配になります。

先日、市の会議に参加したときに、最近、根上中学生のあいさつ良くなったねとのお声をかけていただきました。福島地区の方ですけど、「近所の子が、朝夕に出会うと、元気にあいさつしてくれうれしくなります。」とのことでした。

何度も書いていますが、あいさつできる生徒、そうじできる生徒、素直に話が聞ける生徒は、社会に出てもかわいがられ「伸びる子」です。根上中学生には「伸びる子」になってほしいと思います。”がんばろう！根上中！”

※根上中のHPをどうぞご覧ください。以前よりも内容が充実していると思っています・・・